

特別の教育課程の編成方針等について

リンデンホールスクール中高学部

1. 特別の教育課程の概要及び編成方針

リンデンホールスクール中高学部では学校設定教科「環境科」を設置し、科目「環境」を第1学年から第3学年まで35時間を標準とした授業時数で実施する。「環境科」は生態系や地球の循環システムについての基礎を学ぶ同時に、生態調査等のアクティビティを行い、学習内容と生活との結びつきを考え理解することで環境問題を自身に関わる問題として捉え解決に向かう態度を育てることを目標とする。

また、英語イマージョン教育においては、第1～6学年において、「国語」、「技術家庭」、「情報」、「保健体育」以外の各教科等について、各学年及び教科等の標準単位数を満たしつつ、英語による授業を実施する。さらに第5・6学年において、コース選択により国際バカロレア・ディプロマ・プログラムを実施する。

2. 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

世界的な舞台で活躍できる「英語が自由に使える国際人」の育成が、今、一層求められており、生徒達が将来、広い視野を持って社会で活躍するためには、英語の修得は必須である。その方針のもと、リンデンホールスクール中高学部では英語イマージョン教育を通して、英語をツールとして活用できる人材の育成に努めている。

また、これからの時代を生きる生徒たちが、自分達を環境の一部であると捉えることができ、その解決のために自らができることを考え、寄与する力を身に付けることは重要である。気候変動や海洋生態系の環境変化などの環境問題は、問題解決のために国を超えた国際的な協力と枠組みが求められる。本校は、生徒たちが英語を使って世界的な規模の環境問題を学びながら、同時に身近な自然や地域の環境問題についても学び、それらを結び付けて考え解決に向けて具体的に行動すること、また発信することを通して、環境問題の本質的な解決に貢献できる人材を育成したいと考える。

国際バカロレア・ディプロマ・プログラムについては、Japanese 以外すべての教科を英語で学ぶ「英語ディプロマ・プログラム」を編成している。本校は国際バカロレア教育を通して、国際社会を生き抜く幅広い視野を持つ生涯学習者を育成しながら、大学入学資格としてのディプロマを活用して、生徒に海外大学進学の実機を提供している。